

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	スーパー（企画 担当）	販売量の動き	・ 今月は生鮮部門に回復の兆しがあり、特に青果部門が前年比108%と動きが良く、全体の売上をけん引している。旧正月等のモチベーション需要が好調に推移したことも一因である。
		観光型ホテル （総支配人）	来客数の動き	・ 宿泊客数の3か月前比は146.6%、前年同月比は114.5%と好調である。総売上は同112.2%、73.9%と前年同月比で大幅ダウンであるが、宿泊客数が増えたことから、景気と旅行マインドの回復の兆しを感じられる。
		観光型ホテル （マーケティング 担当）	販売量の動き	・ 3か月前と比べ、前年実績比において回復している。しかし、まだまだ前年を下回る状況は変わらず続いている。3か月前は日経平均株価、消費者物価指数等の各指標を見ても最も悪い状況だったので、その時期から比べると回復感はある。
		ゴルフ場（経営 者）	単価の動き	・ 本土客の入込が増えてきている。しかし、この2、3か月の単価は前年比10%ぐらいの減少である。
	変わらない	百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・ 全館的な客数の減少に歯止めがかかっていない。パレンタインデーのギフトなど、モチベーション的なアイテムで堅調に推移する商品もあるが、衣料品や家庭用品などの苦戦状況に変化は見られない。
		スーパー（販売 企画担当）	単価の動き	・ 単価が前年から落ち続けている。
		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・ 客単価はほぼ戻ってきているが、来客数の改善が見られない。
		コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・ 前年の12月から来客数が減少した状態が続いている。長雨の影響や観光客減少で絶対数が減っている。観光施設の入場チケットの販売数が激減しているのもその裏付けとなる。
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・ 前年と比べて来客数、1点単価共に同じくらいであるが、客単価は前年と比べて1割ほど下がっている。
旅行代理店（代 表取締役）		販売量の動き	・ 旅行商品は安売り合戦が続いており、販売数もあまり伸びていない。	
通信会社（店 長）		販売量の動き	・ 相変わらず買い控え傾向が見られる。	
通信会社（店 長）		販売量の動き	・ 来客数の落ち込みは少ない。販売数の落ち込みが前年比で同じ水準で推移している。	
観光名所（職 員）		来客数の動き	・ 施設利用者数は、前年同月比で9割台と、相変わらず厳しい状況である。前年も前々年比では大幅に落ち込んでおり、沖縄観光は非常に厳しい状況にある。来園者は一般団体、学生が中心である。	
その他サービス [レンタカー] （営業担当）	来客数の動き	・ 2月のレンタカーの貸し渡し件数はほぼ前年並みだったが、入域観光客数が好調だった前々年と比較すると、まだ10%ほど悪い状況にあり、決して好調とは言えない。		
やや悪く なっている				
	悪く なっている	商店街（代表 者）	競争相手の様子	・ 那覇市中心街は観光客相手の店が多くなり、互いに客を取り合っている。地元住民も、外部の大型店に行って買物しており、街中の事業者は大変苦戦をしている。
		その他専門店 [楽器]（経営 者）	販売量の動き	・ 今月は売上不振の底に来た感覚がある。ただし店舗の規模を縮小した後でもあり、これから売上を伸ばすのは現状では大変厳しい状況である。
その他飲食[居 酒屋]（経営 者）		販売量の動き	・ 例年の2月に比べて、来客数、客単価、売上共に過去最低で推移している。低価格、食べ放題のイベントも打っているのに、原価率も3%上がっており非常に厳しい状態にある。	
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	輸送業（代表 者）	受注量や販売量 の動き	・ 公共工事関連では、空港やダムの関係で複数の離島向けが動いている。民間工事も一部の離島で少しずつ出てきている。

	変わらない	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・ 建築や家電関連以外の取引先は、売上低迷による物流の動きが鈍い。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・ 新年度に向けての受注の話はあるが、契約の締結には至っていない。
		会計事務所（所長）	取引先の様子	・ 取引の量、金額自体は安定している。
	やや悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ マンション、商業施設等の大型物件が減少している。
		コピーサービス業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・ 政権交代の影響かは分からないが、各公共機関からの受注量が減少している。
	悪くなっている			
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・ ほぼ例年通りの推移ではあるが、キャンペーンの効果もあり、県内の求人広告の総受注件数は前年より増加している。
	変わらない	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・ 平成23年3月卒の対象の求人について、企業側の絞り込み傾向が出ている。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・ 雇用調整助成金などの影響もあり、新規求職者が前月比35.1%増、前年同月比6.8%増である。求人も増加しているが、景気の回復というわけではなさそうである。新規学卒者の求人は減少しており、将来の不安材料である。
	悪くなっている	-	-	-